



令和5年度 保健師職能だより



三条市 25人

【福祉保健部 健康づくり課 保健指導係・健診係】

今年度、特定保健指導の実施率に加え検査数値や生活習慣の改善率のアップを目指し、新たにICTを活用したスマートウォッチによる特定保健指導、働き盛り世代をターゲットした講演会、就業者の相談に対応している関係機関との情報交換会等の自殺予防事業、高齢者の一層の健康増進を図るための高齢者の保健事業と介護予防事業の一体化事業に取り組んでいます。また、健康増進計画のほか、様々な計画の終了年度を迎え、新たな計画の策定に向け、各分野の保健師と連携し取り組んでいます。

【福祉保健部 高齢介護課 企画調整係・高齢福祉係・地域包括ケア総合推進センター】

「世代や分野を越えた丸ごとの地域づくり」を進めるため、日常生活圏域単位で地域包括支援センター、障がい相談支援事業所、生活困窮支援担当、地区担当保健師と共に取組を進めています。介護予防の分野では、介護保険の理念である「自立支援」の考え方を市民に浸透させるための啓発活動に力を入れています。また、高齢者虐待に保健師の視点を加え、虐待予防、早期発見・対応、地域包括支援センターへの支援・指導で多忙な日々を送っています。

【教育委員会事務局 子どもの育ちサポートセンター 総合支援係・発達応援室】

母子保健と児童福祉が一体化した組織の強みを活かし、地区担当保健師が多様化する課題に応じたケース支援を行っています。伴走型出産・子育て応援事業、産後ケア事業、妊娠から就労に至るまで総合的に切れ目なく支援をつなぐ「子ども・若者総合サポートシステム」等、すべての子どもの育ちに応じた支援に取り組んでいます。

また、「三条っ子発達応援事業」の推進とともに、医療的ケア児を含む障がい児への支援体制の更なる充実を図っています。

職能委員長あいさつ

秋冷の候、皆様におかれましてはますますご活躍のことと存じます。さて、県央支部保健師職能委員会では、保健師同士のつながりを深め、よりよい保健師活動につなげていきたいという思いから毎年職能だよりを発行しております。それぞれの職場での仕事内容や力を入れている取り組みについて知り、連携の手がかりにいただけたら幸いです。また、職能だよりは支部会員のほか、活動のPRのため会員外の保健師にもお届けいたしました。

今後とも活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



職場紹介



三条地域振興局健康福祉環境部/三条保健所 6人

【地域保健課】 5人

【医薬予防課】 1人

今年はピカピカの新採用の仲間を1名、その他3名の保健師の異動があり、フレッシュな気持ちで業務に取り組んでいます。

市町村保健師の皆様から御協力いただいた、約3年に渡る新型コロナウイルス感染症対応は一段落し、通常業務が中心の日々が戻ってきました。「県民すべてが生き生きと暮らせる新潟」を目指し、市町村や関係機関の皆様と協働して取り組んでいきたいと思っております！



県央支部保健師会員所属機関			
1	三条地域振興局健康福祉環境部	6	田上町
2	三条市	7	パナソニック(株)エレクトリックワークス社新潟工場
3	燕市	8	(福)吉田福祉会
4	加茂市	9	(福)桜井の里
5	弥彦村		

『年間活動計画』

11月
保健師職能だより発行
12月頃(予定)
保健師職能研修会

(福)桜井の里 2人



【燕市分水地区地域包括支援センター】

今年度は、新しい職員が3名入り、認知症地域支援推進員含め9人体制となりました。感染症の影響はまだありますが、気を付けながら地域に出て、地域の方とつながってほしいと思っています。いきいきサロンからも介護予防をしてほしいとご依頼があり、皆さんと体を動かしています。まだマスクが取れない中ではありますが、マスク越しでも伝わる笑顔を継続していきます！

【弥彦村地域包括支援センター】

新型コロナウイルス5類への移行に伴い、村内の地域の活動が活発になっている中、当センターも今年度は村民の集まる場に講話等で出向くことができ、本来の顔の見える関係づくりが行えていると実感できます。地域包括支援センターがより身近な存在となり、村民の方々の悩みを解決することができるよう、関係機関と協力していきつつ頑張っていきたいと思っております。



令和5年11月発行 保健師職能だより
公益社団法人 新潟県看護協会県央支部 保健師職能委員会

《役員》弥彦村役場、三条地域振興局、燕市役所、加茂市役所 保健師4名

燕市 29人



【健康福祉部 健康づくり課】

新人保健師を迎え、新任期をはじめとした現任研修に力を入れています。組織改編で母子保健チームはこども政策部に移管しましたが、保健センター配属なのでチームワーク良く保健事業を実施しています。また、情報発信や予約を効果的・手軽に進めるため、燕市健康・医療・子育てLINEの運用を開始しました。自分らしい健康づくりができる健康づくりマイストーリー運動は10年目を迎え、特別企画を展開しています。さらに、健康増進計画策定年度なので、改めて健康課題の分析や保健事業の見直しに奔走しています。

【健康福祉部 長寿福祉課】

令和5年度は保健師1名となり、在宅医療介護連携や介護予防事業を「健康づくり課」との連携で進めています。特に介護予防事業に関しては、健康づくり課保健師・地域包括支援センター保健師・燕市社協の介護予防担当と定期的に集まり、介護予防事業の普及のための取り組みを一緒に考えています。

それぞれの担当者の顔が分かり、実施している事業が分かることが連携には本当に重要であると痛感しています。この取り組みの過程で見えてきた課題の解決にも取り組んで行こうと思います。

【こども政策部 子育て応援課】

燕市の子育て支援をさらに充実するため、「こども政策部」が発足し、「子育て応援課」は子育て支援課、社会福祉課、健康づくり課から保健師が担当していた妊娠・出産・子育てに関する相談、乳幼児健診等の母子保健事業、療育支援や虐待相談などの業務を担当しています。燕市のこども達が健やかに、幸せに成長できるよう福祉と保健が一体となった活動を目指していきます。

加茂市 10人



【健康福祉課健康づくり係】

地域で楽しみながら健康づくりに取り組める活動量計を利用した健康ポイント事業を、糖尿病対策にも取り入れ重症化予防に取り組んでいます。たくさんの方に利用してもらっており、健康づくりが進んでいます。加茂市の健康づくりのため、保健師全員で一丸となって日々頑張っていきたいと思っております！

【こども未来課こども未来係】

妊娠から切れ目なく必要な人に伴走者として支援ができるよう日々邁進しています！今年度から妊産婦だけでなく、配偶者へのメンタルヘルスオンライン健康相談を開始し、相談支援体制を強化しました。「こども」を中心に家族や関係機関と連携し、こどもの未来をサポートしていきます。

【長寿あんしん課 地域包括支援係】

R5年度通所サービスC事業について、県の強事業支援を受け、介護予防事業の見直しを行っています。その他に、一般介護予防事業の拡大や、昨年度以上に地域サロンや老人クラブへ出向き、地域とのつながりを意識して介護予防をすすめています。

【教育委員会 スポーツ振興課】

これまで保健師の配置がなく、今年から配置されました。保健師の予防的な視点を活かしてイベント・大会の計画・開催、競技者・指導者への支援などを行っています。

パナソニック（株）エレクトリックワークス社新潟工場 1人



【パナソニック新潟健康管理室】

企業内健康管理室での勤務は6年目です。産業保健の業務は、特定保健指導を中心とした健康支援、法律に基づく各種健康診断の準備から事後措置、日々の体調不良者への対応、製造現場の安全・衛生など多岐に渡ります。コロナ禍には職域接種もありました。18歳の新人から定年延長で働くベテランまで、新潟工場働く方々が安全な職場で元気に働けるよう支援をしています。

（福）吉田福祉会 1人



【燕市吉田地区地域包括支援センター】

担当圏域のみなさんが元気で・自分らしく・住み慣れた地域で暮らし続けていけるように、個人の相談対応だけでなく、地域のみなさんに向けた介護予防や認知症予防など予防活動にも積極的に取り組んでいます。また、地域で活動する様々な役割の方々と顔見知りの関係となり、いつでも協力ができるような体制づくりにも力を入れています！

田上町 6人



【保健福祉課 保健係・福祉係】【教育委員会】

3月に2名が退職、4月から新採用1名で、1名減のまま今年度スタートしました。コロナによる行動制限が緩和され、事業も例年並みに戻り、少ない人数で力を合わせ日々の業務に取り組んでいます。介護予防・生活支援体制整備事業・糖尿病対策・子育て支援・・・課題は多くありますが、町民に寄り添い、小さな町だからこそできる取り組みを探っていきます。

弥彦村 6人



【健康推進課】【福祉課】

健康推進課に5人、福祉課に1人の6人で協力しながら、母子、成人、介護予防、新型コロナワクチン接種など様々な分野で活動しています。

そして、今年は何と言っても健康づくり計画等の改定があり、地域の方々と一緒に弥彦の未来を創作しています。扱うことは多いですが、保健師全員で悩み、考え、行動し、力を合わせて進んでいきます。